

議事要旨

1. 日時：令和5年12月20日（水）9：30～11：00

2. 場所：和歌山県自治会館 201 会議室

3. 委員：(敬称略、出席者のみ)

- ・大西 有三（京都大学）：委員長
- ・砂金 伸治（東京都立大学）：委員
- ・日下 敦（国立研究開発法人 土木研究所）：委員
- ・中本 純次（和歌山工業高等専門学校）：委員

4. 議事要旨

- ①事務局より覆工コンクリートの取壊し調査状況の報告およびトンネルの補修方針（案）について説明があった。
- ②覆工コンクリート取壊し調査状況について、12月12日から覆工コンクリートの撤去に着手したこと及び、撤去工事の安全対策に関する報告があった。
- ③対策方針（案）について、以下のことを確認した。
  - ・鋼アーチ支保工について、ほぼ全測点で所定の位置に設置されていないことを踏まえ、所定の覆工コンクリート厚を確保するには、トンネルのほぼ全延長で鋼アーチ支保工の撤去と当初設計の位置での再設置が必要であること。
  - ・吹付けコンクリートについて、必要な断面が確保できるまで撤去すること、完全に撤去してもなお必要な断面が確保できない場合は、地山を掘削した上で吹付けコンクリートを施工すること。
  - ・上記を踏まえ、当初設計仕様・性能を満足するトンネルを再構築すること。
- ④補修の施工にあたっては、施工時の安全確保を行うため、撤去前、撤去後の支保工の計測や地山の観察を行い、その記録を保存すること、鋼アーチ支保工は原則1基ずつ慎重に施工すること及び、騒音・粉塵等の対策を行うことを確認した。また、施工後には一次吹付けコンクリート及び鋼アーチ支保工が正確な位置に施工されているか測定し、記録を保存することを確認した。
- ⑤トンネル補修工事完了までの工期は、約2年かかることを確認した。
- ⑥再発防止策の対応方針について、再度施工業者へヒアリングを行い、当時の詳細な現場の実態や施工状況をより明らかにし、次回委員会までに整理していくことを確認した。